

第三号議案

2015年度活動計画(案)

2015年度ナルク本部の最重要課題は、「会員増強と地域包括ケアへの参加が柱」と指針が出されました。

NALC「天の川クラブ」は、これを受けて次の活動目標を掲げました。

1. 会員増強への取り組み

(1) 新会員獲得に取る組む

地域で開催する行事やイベントには積極的に参加し、ガイドブックなど配布するとともに「ひらせんナビ」などの情報誌を活用し、広報活動に取組んでいきます。一方、会員の「口コミ」による入会者の紹介を奨励するとともに入会した会員が早期に活躍できるようサポート役を決め、取組んでいきます。

(2) 退会者減少に取る組む

休眠会員へのアクションとして、無活動者の抽出を行いナルク会員として共有できるよう「呼びかけ運動」を展開していきます。

2. 地域包括ケアへの取り組み

介護保険制度改定に伴い、2017年4月実施にむけ各自治体でも改定後の取組みについて具体的な方向付けが検討されている段階です。

NALC「天の川クラブ」として、社会貢献の一役を担う観点から、行政機関との連携を図り、積極的に取組んでいきます。

3. 子育て支援への取り組み

現在「いきいき広場」「子ども安全見守り」「青色防犯パトロール」「親子広場支援」を行っていますが、今現実に必要とされている子育て中の若いお母さんたちにどのような支援が出来るのかを検討していきます。

4. 地区会充実への取り組み

地区担当運営委員・地区世話人・地区内のコーディネーターが中心となり、顔の見える「一言呼びかけ運動」を展開し、会員相互の繋がりが得られるよう実施していきます。

5. 東日本大震災への支援

昨年ナルク20周年記念行事に参加し、被災者支援活動を展開しましたが、本年度もナルク宮城拠点を側面からサポートしながら支援を継続していきます。

6. 会員活性化への取り組み

本年度も会員活動促進を図るため、各種研修会及び交流会を実施すると共に、私達の年代に応じたイベントを考案し実施いたします。

1. 時間預託活動

担当 近藤秀子・角山正男・一宮順世

会員自身が不自由を感じた時に他の会員の支援を受けることが出来るシステムです。地区会の中で育まれた仲間意識が支えあいの大きな力になります。

(1) 会員相互扶助活動

家事・介助支援は、高齢者が在宅生活を送る上で欠かせないものです。スキルの向上を図りながら家事全般を支援します。

庭・植木の手入れは、スキルアップを図るため松の手入れ講習会、植木剪定マニュアルのリニューアル等を行い、利用者の要望に応えると共に拡大を図ります。

ハウスヘルパーは、専門的スキルを要する作業にも、迅速な提供活動を心掛け、更に活動の活性化を図ります。

送迎は、外出・移動困難な利用者の生活の質を高める事を目指すと共に送迎活動を会報で紹介するなど、更に利用者の拡大を図ります。

パソコン指導は、利用者のニーズに合わせて幅広く助言・指導を行うと共にパソコンの買換えによる初期設定やトラブル対応にも引き続き取り組みます。更に電話やメールまたはリモートコントロールによる指導等も行い、預託活動点数への算入についても検討します。

(2) 福祉施設支援活動

今年度も地域社会への貢献と会員の生きがいにつながるような活動を目指します。

「サンセール香里園」では、前年度より新規活動も増え、提供活動に積極的に参加して頂けるように会員への PR に努め、「エイジフリー・星が丘」でも新しい提供者の掘り起こしを致します。

2. 奉仕活動

担当 一宮順世・東平守弘

今年度の目標は、年間 12,000 時間を継続します。提供者不足解消のため地区会や会報で、今後も奉仕活動への参加を呼びかけていきます。

(1) 福祉施設支援活動

施設入居者との交流の中で、地域貢献活動として支援活動を続けます。

今年度も地区会、文化部、同好会の協力を得て活動を推進します。

(2) 子育て支援活動

親子広場支援の提供者不足の解消をはかるため、「天の川クラブ」としても体制を整え準備をしていきます。

(3) 環境美化活動

新会員の活動の手始めとして、参加を呼びかけていきます。

(4) その他ナルク外部活動

ひらかた市民活動支援センター・枚方市社会福祉協議会等開催の地域イベントに積極的に参加していきます。

「青色防犯パトロール」は16台の登録車と60名を超える活動者によって、枚方市内全域にわたり巡回しています。今年度も安全運転に心がけて活動していきます。

「ハンドマッサージ活動」は、福祉施設や防災学校等地域支援を進めていきます。

3. 事業活動

担当 和田亮吉

前年に続き、本年も枚方市から3事業を受託いたします。

この事業は、市民を対象とし地域貢献に寄与するもっとも重要な活動です。

(1) 在宅生活援助受託事業

介護保険制度で自立とされたひとり暮らし高齢者に対し、生活援助を行う「継続」した支援と、要介護・要支援認定を受け訪問介護サービスを受けている在宅のひとり暮らし高齢者に対し、年2回の簡単な生活援助を行う「スポット」があります。市の要望に即応した活動を進めていきます。

(2) 生きがい創造学園受託事業

毎年1,000名以上の応募者があり、抽選により550名が受講生として学習しています。

行政及び受講生と密接な意見交換を行い、充実した講座を目指します。

(3)生涯学習情報プラザ受託事業

施設維持管理(学習ルーム・交流ルーム)の活用頻度増と新予約システムに的確に対応するため、関係部署との綿密な連携を推進します。

パソコンミニ体験講座・おもしろパソコン教室・デジカメ写真取り込み体験も継続していきます。

4. 文化・スポーツ活動

担当 梅田壽雄

今年度も引続きクラブ・同好会の創設を奨励していきます。

以前、ナルク本部の意識調査や博報堂の調査によれば、最も希望する定年後の暮らし方は「フルタイムでない仕事」「ボランティア・地域活動」「旅行・趣味・健康づくり」の三位一体の生き方が望まれている結果がでています。

同じ趣味を持つ同士、共にスポーツで汗しながら、お互い自己研鑽に励み、会員同士の絆を強め、そこから一歩前進して本来のボランティア活動への参画に連なるよう期待しています。

今年もナルク内部の活動に止まらず、広く地域や施設への積極的な活動を支援していきます。

活動状況は、毎月発行の「ふれあいルームだより」及び「会報」により、情報を提供していきます。

5. 会員活動促進

担当 植本壽満枝

ボランティア活動を推進するに当たり、家事介助支援活動に必要な知識と技量向上のために、研修会を開催致します。

また、会員同士の親睦と連携を図り、地区会の充実に取り組みます。

(1)地区会

地区担当運営委員・世話人代表者が、他地区会へオブザーバーとして積極的に参加する事を進めます。又、地区担当運営委員・代表世話人会議を開催して、地区の情報交換の場とし、充実を図ります。一方、地区連絡員の交流会を

開催し、連絡員の役割について、理解を深めていきます。

新会員に対しても積極的に参加を呼びかけていきます。

(2)会員研修

介護保険制度の改正により、会員のみならず行政からも介護・支援活動が、ボランティア団体に期待されています。今年度もスキルアップを目指し、「シニア生活・介護支援サポーター研修」「コーディネーター養成講座」「新入会員研修会」を開催します。

(3)イベント

定時総会、私たちの年代に応じた秋のイベント、バス旅行を予定しています。

(4)活動区分別交流会

情報交換を密にし、連携を深める事は、提供活動を円滑にする上で重要なポイントとなる事から、活動区分別交流会を積極的に進めていきます。

(5)誕生月会

誕生月カードは、絵手紙同好会の協力を得て今年度もお届けします。

6. 事務局活動

担当 東平守弘

NALC「天の川クラブ」の活動を遅滞なくまた正確に進めるため本年も昨年同様次の事項を進めます。

(1) 会員管理・PC 入力・手配り・ホームページ等業務の充実を図っていきます。

(2) 会報作成の役割分担を明確にしていきます。

(3) 広報・渉外は、各福祉施設・団体・イベント等にナルク活動をPRしていきます。